



【台所・居間・事務所・店舗用】

三菱ダクト用換気扇

形 名	VD-23Z14、VD-23ZP14、VD-23ZPH14
-----	-------------------------------

取扱説明書・据付説明書

お客様用／販売店・工事店様用

お客様	この製品の運転にはスイッチが必要です。スイッチの位置を確認してください。
	お客様自身では据付けしないでください。 (安全や機能の確保ができません)
	●ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。 ●「取扱説明書」は大切に保管してください。

販売店・工事店様	本冊子は据付け後、必ずお客様へお渡しください。
	■据付け、壁穴工事はお買上げの販売店・工事店様が実施してください。
	■電気工事は電気工事士の方が実施してください。
	■この製品は、台所・居間・事務所・店舗の天井に据付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。故障の原因となります。
	■形名によって据付方法が異なりますので、据付け前に形名をご確認ください。形名表示位置は「2.各部のなまえ」を参照してください。
	■この製品には市販の埋込スイッチ、またはシステム部材のコントロールスイッチが必要です。その他屋外フードなどは三菱換気送風機総合カタログをご確認の上、別途ご用意ください。
	■電子式スイッチ（半導体制御による速調・温度・湿度・タイマースイッチなど）やホタルスイッチをご使用の場合は組合せ上、不具合の発生するおそれがありますので、ご使用の際はあらかじめご確認ください。
	■接続ダクトは外形寸法図に示すダクト径の塩化ビニル管・アルミフレキシブルダクト・鋼板管のいずれかをご用意ください。
	据付説明書は裏面をご覧ください

取扱説明書

1. 安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの	注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの
-----------	-----------------------------------	-----------	---------------------------------------

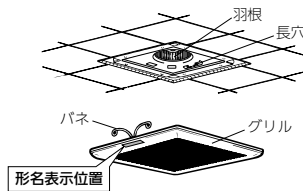
本文中や本体に使われている図記号の意味は次のとおりです。

禁止	水ぬれ禁止	分解禁止	浴室での使用禁止	接触禁止	感電注意	指示に従う
----	-------	------	----------	------	------	-------

警告			
禁止	●ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切をしない 爆発・引火の原因。	指示に従う	●異常・故障時には、直ちに使用を中止する 発煙・発火・感電・けがの原因。 〈異常・故障例〉 本説明書末尾の「愛情点検」をご参照ください。
水ぬれ禁止	●製品に直接水やお湯、かび取りなどをかけない ショート・感電の原因。		●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう据付ける 漏電した場合発火の原因。
分解禁止	●改造や工具を必要とする分解はしない 火災・感電・けがの原因。 分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお客様相談窓口にご相談ください。		
指示に従う	●お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る 感電・けがの原因。	感電注意	●電気工事の際、裸線に接触しない 感電の原因。
	●交流100Vを使用する 直流や交流100V以外を使用すると感電の原因。		

注意	
禁止	●換気扇設置場所では中性洗剤以外の洗剤・殺菌剤・消毒剤を頻繁に使用しない 本体・部品の落下によるけがの原因。
	●直接炎のあたるおそれのある場所や有機溶剤・可燃性ガスのある場所には据付けない。 また、使用しない 火災の原因。
	●中性洗剤以外の洗剤・殺菌剤・消毒剤を頻繁に使用する場所には据付けない 本体・部品の落下によるけがの原因。
	●本体に異常な振動が発生した場合は使用しない 本体・部品の落下によるけがの原因。
浴室での使用禁止	●浴室など湿気の多い場所には据付けない。また、使用しない 感電・故障の原因。
指示に従う	
●運転中は危険なため、羽根の中に指や物を入れない けがの原因。	
●電気工事は必ず電気工事店に依頼する 感電の原因。	
●お手入れの際は手袋を着用する 着用しないといけない原因。	
●部品の据付けは確実に行う 落下によるけがの原因。	
●長期間ご使用にならないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。	
●据付けの際は必ず手袋を着用する けがの原因。	
●本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に行う 落下によるけがの原因。	
●電気工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う 接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因。	

2. 各部のなまえ



ご使用にあたってのお願い

- 高温（40℃以上）になるところに据付けられていないか確認してください。（製品の変形や早期故障の原因となります）
- スプレー（殺虫剤・整髪用・掃除用など）をかけないでください。（グリル・羽根の破損、変質の原因となります）
- 換気扇設置場所では中性以外の洗剤や消毒剤などを頻繁に使用すると寿命が短くなる場合がありますのでご注意ください。

3. 使用方法

注意

- 換気扇設置場所では中性洗剤以外の洗剤・殺菌剤・消毒剤を頻繁に使用しない
本体・部品の落下によるけがの原因。

- 運転開始と停止は壁のスイッチで行います。
- 壁のスイッチで風量の「強」・「弱」を切り替えることができます。

お願い

- 給気口があるか確認してください。（効果的な換気を行うために必要です）
- IHクッキングヒーター（電気コンロ）などを設置した台所に据付けた場合、蒸気が大量に発生する調理をされますと、換気扇本体に結露（水滴）が生じ滴下するおそれがあります。その際は「鍋などに蓋をする」、「早めに加熱量を調整する」など水蒸気量が少なくなるようにしていただくか、滴下する前にグリルと本体内部を乾いた布などで拭き取ってご使用ください。（IHクッキングヒーターはガスコンロに比べ熱効率が高く、調理時に換気扇の周辺温度が上がりにくいため、特に冬期の温度が低い場合に結露（水滴）が生じる場合があります）

お知らせ

- この換気扇は外気逆流や冷気侵入などを低減させるため、排気側に風圧式シャッターを設けています。風圧式シャッターでは急激なドアの開閉や外風の強い時などに、シャッターの閉じる音が聞こえる場合があります。
- スイッチにより、ランプが点灯して運転中であることが分かるものがあります。
- スイッチ（ランプ付）の仕様により、「強」・「弱」切り替えでランプの点灯が薄くなったりちらついたりすることがありますが異常ではありません。

「強」運転の上手な使いかた

- 水蒸気や油煙などを急速に排出したいときは「強」運転に切り替えます。

4. お手入れのしかた

3か月に1度を目安に、グリルの清掃をしてください。

※清掃頻度は目安であり、使用環境により異なります。

グリルにほこりが付着しますと風量低下や異常音発生の原因となります。



警告

- お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る
感電・けがの原因。



注意

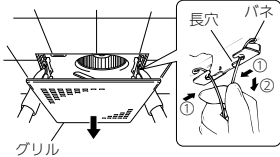
- お手入れの際は手袋を着用する
着用しないときが原因。

お願い

- お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください。
(台所用中性洗剤をご使用ください。)
シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、
化学ぞうさんの薬剤、クレンザーなどの研磨材入りの洗剤、殺菌剤、消毒剤など
(異常音の発生、変質、変色、塗装はがれや故障の原因となります)
- 台所用中性洗剤は原液のまま使用せず、洗剤に記載の使用量の目安に従い、薄
めてご使用ください。
- 洗剤が残らないようによくふき取ってください。

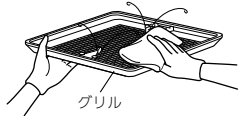
グリルをはずす

- グリルを両手で少し下げ、パネをにぎって
本体内部の長穴からはずします。
- パネは片側ずつ取りはずすとスムーズには
ずれます。



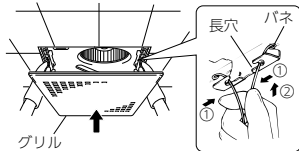
汚れを取る

- グリルの汚れは、台所用中性洗剤を浸し
た布でふき取り、洗剤が残らないように乾
いた布でよくふき取ります。
- グリル以外の汚れがひどい場合および振
動や騒音が発生した場合は、お買上げの
販売店かお近くの「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。
- 油煙の発生する場所でご使用されている場合、別売のグリスフィルターがグリルに
据付けられています。
- グリスフィルターは台所用中性洗剤を溶かしたぬるま湯 (40℃以下) に浸し、タワ
シなどで表面を軽くこすって汚れを落としてきれいな水ですすぎ洗いをして乾かして
ください。(金属タワシなどは使用しないでください)
- グリスフィルターの据付け・取りはずしは、「グリスフィルターの据付け・取りはず
し」を参照してください。



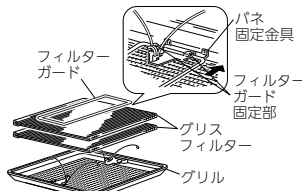
グリルを据付ける

- パネを長穴に差し込み、グリルを軽く上に
押し上げます。
- パネは本体側へ片側ずつ差し込むとス
ムーズに据付けられます。



グリスフィルターの据付け・取りはずし

- グリスフィルターをお手入れの際は以下の手
順で据付け・取りはずしを行ってください。
- (1) 右図のようにグリスフィルターを2枚合
わせて両側のパネ固定金具とグリルの
間に差し込みます。
- (2) フィルターガードを両側のパネ固定金具
のフィルターガード固定部に引掛けてく
ださい。
グリスフィルターはグリルの開口部を全
て覆うように据付けてください。
- (3) 取りはずしは据付けと逆の手順で行ってください。
- グリスフィルターを新しいものに交換される場合は、別売のシステム部材をお求めの上、据
付けてください。



- グリスフィルターは右表を
参照し、三菱電機パートナー
Web WIN2Kより本体形名
にあったものを選択してく
ださい。



<https://www.mitsubishielectric.co.jp/ldg/wink/ssl/productInfo.do>

本体形名	グリスフィルター形名
VD-23タイプ	P-23GFZタイプ

5. 修理を依頼する前に

このような動作や事象は異常ではありません。

- この換気扇は風圧式シャッターを設けています。
急激なドアの開閉や外風が強い時などに、シャ
ッターの閉じる音が聞こえる場合があります。
- ダクト配管が長いまたは曲がりが多い場合は、羽
根の回転数が上昇し、運転音が大きくなります。
- 使用環境によっては、部屋の反響などにより、音が大きく聞こ
える場合があります。
- スイッチ (ランプ付) の仕様により、「強」、「弱」運転切替
でランプの点灯が薄くなったり、ちらついたりすることがあり
ます。

当社ホームページの「よくあるご質問FAQ」もご確認ください。
<https://faq01.mitsubishielectric.co.jp/category/show/270>



このような症状があれば点検してください。

- スイッチを「入」にしても換気扇が
運転しない。
- 換気されない、換気量が不足する。
●運転中に異音がある。
- グリルから室内に風が吹き返す。
●運転中に振動がある。
- グリルがはずれかかっている。
または傾いている。
- ブレーカーが切れていたり、停電ではありませ
んか?
- 羽根が回転しているか確認してください。
運転音が小さく、運転しているか分かりにくい
場合があります。
- 羽根に異物が付着していませんか?
給気不足ではありませんか?
(給気ガラリ、給気口は開いていますか?)
- 屋外フードにほこりが堆積していませんか?
●グリルや本体が確実に据付けられていますか?
- 本体に確実に据付けてください。

点検・
処置を
しても
直らない
場合

必ず電源を
切ってから、
お買上げの販
売店・工事に
点検・修理
を依頼してく
ださい。
費用については販売店・工
事店にご相談
ください。

6. アフターサービス

- この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。

■補修用性能部品の保有期間

- 当社は、この換気扇の補修用性能部品を、製造打ち切り後6年保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 長年ご使用いただくためには換気扇のメンテナンスが必要です。
- モーターは消耗部品です。

■修理を依頼されるときは

- ご使用を中止し、必ず電源を切ってから、お買上げの販売店・工事店にご連絡ください。

●修理料金は

技術料+部品代 (十出張料) などで構成さ
れています。

- 技術料…製品の点検や故障した製品を正常に
修復するための料金です。
- 部品代…修理に使用した部品代金です。
- 出張料…お客様のご要望により、製品のある
場所へ技術員を派遣する費用 (出張
料) や有料駐車場の費用 (駐車料)
を別途いただく場合があります。

●ご連絡いただきたい内容

1. 品 名 ダクト用換気扇
2. 形 名 VD-○○○○
3. お買上げ日 ○年 ○月 ○日
4. 故障の状況 (できるだけ具体的に)
5. ご 住 所 (付近の目印なども)
6. お名前・電話番号・訪問希望日

ご相談窓口・修理窓口のご案内 (住宅用換気送風機)

取扱い・修理のご相談は、まず
お買上げの販売店・施工者・設備業者へ

- お買上げの販売店にご依頼できない場合
(転居や贈答品などは、
各窓口へお問い合わせください。

■お問い合わせ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて
三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただいた個人情報(下記のとおり)をお取り扱いします。
1.お問い合わせ (ご依頼) いただいた修理・保守、ごあかしめお客様からご了解をいただいた内容
工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報、本目的の
に製品品質・サービス品質の改善、製品情報
のお問い合わせに利用します。
2.上記利用目的のために、お問合せ (ご依頼)
内容の記録を残すことがあります。
3.あかしめお客様からご了解をいただいた内容
に個人情報を提供・開示することはありません
①上記利用目的のために、弊社グループ会社・
協力会社などに業務委託する場合、
②法令等の定める規定に基づく場合、
4.個人情報に関するご相談は、お問合せをいた
だきました窓口にご連絡ください。

ご相談窓口 住宅用換気送風機の購入相談・取扱い方法

●三菱電機換気送風機技術相談センター

フリーダイヤル
0120-726-471 (無料)
携帯電話対応
三菱電機株式会社 中津川製作所 FAX (0573) 66-5659 (有料)
〒508-8666 岐阜県中津川市駒形町1番3号

■ご相談対応

平日 (土・日・祝及び弊社休日以外)
9:00~12:00
13:00~17:00

修理窓口 住宅用換気送風機の修理の問合せ・修理の依頼

●三菱電機修理受付センター

パソコン・スマートフォン
www.melco.co.jp/support/
こちらから簡単にアクセスできます。



フリーダイヤル
0120-56-8634 (無料)

携帯電話の場合

TEL **0570-01-8634** (有料)

FAX **0570-03-8634** (有料)

電話受付時間 365日 8:00~19:00

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
●電話番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

SS24-KANKI-A

7. 仕 様

定格電圧100V

形名	設定	消費電力 (W)		風量 (m³/h)		騒音 (dB)		質量 (kg)
		50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	
VD-23Z14	強	78	88	635	600	45	44	8.6
	弱	40	43	380	350	34	33	
VD-23ZP14 VD-23ZPH14	強	95	110	760	730	47.5	46.5	9.6
	弱	44	47	460	430	36	35	

※特性値はJIS C 9603に基づき、測定した静圧0Pa時のものです。
※騒音値は無音室での測定値です。実稼働状態では反響音などを含むためこれより高くなります。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

【本体への表示内容】

※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起
するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容を本体に表
示しています。

【設計上の標準使用期間とは】

※運転時間や温度湿度など、標準的な使用条件 (右表による) に 基
づく経年劣化に対して、製造した年から安全に支障なく使用するこ
とができる標準的な期間です。

※本製品の設計上の標準使用期間は、製造年を起期とし、JIS C
9921-2 に基づいて算出したもので、無償保証期間とは異なります。
また、偶発的な故障を防止するものではありません。

- 本製品は取扱説明書記載の設置場所の想定時間を用いて設計上の
標準使用期間を算出しています。
- 「経年劣化」とは長期にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をい
います。



【製造年】本体に西暦4ケタで表示してあります
【設計上の標準使用期間】15年
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣
化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

■標準使用条件 JIS C 9921-2

環境条件	電 圧	相 相 100V	定格電圧による
	周 波 数	50Hz および 60Hz	定格周波数による
温度	温 度	20℃	JIS C 9603 から引用
	湿 度	65%	
設置条件	標準設置	据付説明書による	取扱説明書による
	想定時間	1年間の使用時間	換気時間 ^{※1)}
		換気時間 ^{※1)}	2410 時間 / 年
		換気時間 ^{※1)}	2193 時間 / 年
		換気時間 ^{※1)}	2614 時間 / 年
		換気時間 ^{※1)}	1671 時間 / 年

注^{※1)} 24時間換気のもの、8760時間/年とする。

愛情点検

☆長年ご使用の換気扇の点検を!



ご使用の際
このようなこと
ありませんか。

- スイッチを入れても羽根が回転しない。
- 運転中に異常音や振動がある。
- 回転が遅いまたは不規則。
(モーターはメンテナンスが必要な部品です)
- こげ臭いにおいがする。
- 本体据付部に腐食、破損などがある。

使用
中止

故障や事故防止のため、
電源を切って必ず販売
店にご連絡ください。
点検・修理に要する費
用は販売店にご相談
ください。

お客さま メモ	形 名	年 月 日
	お買上げ年月日	
サービスを 依頼されるとき 便利です。	お買上げ店名 (住 所)	
	(電話番号)	

この製品には地球環境保護の
一環として再資源化ができる
ように主なプラスチック部品
に材質名を表示しています。
(材質名は主材料に
ISO 規定の略号を使用)

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒形町1番3号

据付説明書

1. 据付けを正しく安全に行うために

据付けを始める前に「1. 安全のために必ず守ること」(表面)、据付手順をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

2. 据付け前のお願い

⚠ 注意

- 中性洗剤以外の洗剤・殺菌剤・消毒剤を頻繁に使用する場所には据付けない
本体・部品の落下によるけがの原因。

据付けにあたって

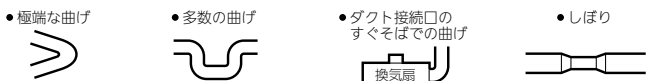
- ダクト用システム部材の使用については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁(特に消防署)にご相談ください。
- 台所用としてご使用の場合、地域により防災上での制限(内装材の制限、補強板・枠の材質の制限、ジャバラの使用など)がありますので、詳細は行政官庁または、消防署にお問い合わせください。
- 高温(40℃以上)になるところには据付けないでください。早期故障の原因となります。
- 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。
- 傾斜天井には据付けしないでください。シャッター開閉不良、振動、異常音の原因となります。
- 製品上部を断熱材などで覆わないでください。早期故障の原因となります。
- 油煙の発生する場所に据付ける場合は、必ず別売のグリスフィルターをグリルに据付けてください。
- 同梱されているダクト接続口を使用してください。風量低下や異常音発生の原因となります。

据付位置

- グリルを取りはずしやすくするためグリル側面と部屋の壁面が150mm以上離れる位置に製品を据付けてください。

天井・ダクト工事

- 天井材は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものをご使用ください。
- 排気ダクトは雨水の浸入やドレン水の逆流を防ぐため屋外に向けて1/100以上の下り勾配をつけてください。
- 次のようなダクト工事はしないでください。風量低下や異常音発生の原因となります。



- 天吊金具を使用する場合、製品の着脱には天井裏での作業が必要です。天井裏での作業ができるよう製品の近くに点検口を設けてください。点検口がない場合、製品取替えなどで天井などを壊す費用は、お客様のご負担となります。

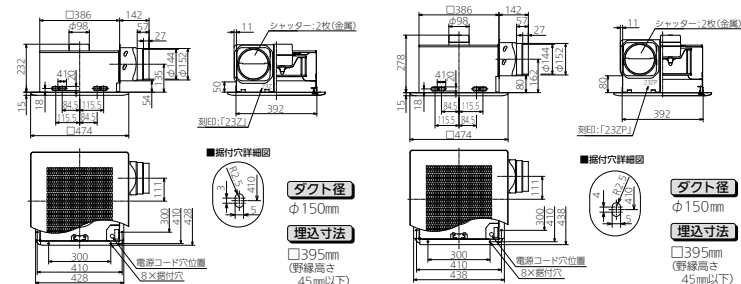
3. 外形寸法図

単位 (mm)

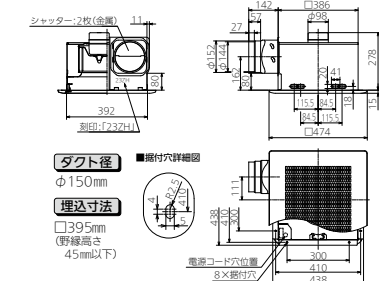
【付属部品】木ネジ……9本

■VD-23Z14

■VD-23ZP14



■VD-23ZPH14



4. 据付方法

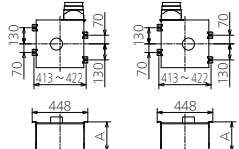
※据付方法には軽量鉄骨に据付ける方法、野縁に据付ける方法があります。使用環境に合わせて適した材質のものをご使用の上、据付けてください。軽量鉄骨に据付ける場合、製品の取替えが困難となる場合がありますので、別売の天吊脱着枠の使用もご検討ください。

1 据付け前の準備

据付位置・壁排気穴位置(単位: mm)を決め、市販の吊りボルト(M8またはM10)を4本埋め込む。(図表参照)

形名	A寸法
VD-23Z14	207
VD-23ZP14	237
VD-23ZPH14	237

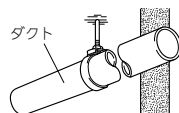
■VD-23Z14
VD-23ZP14



2 ダクト工事

壁排気穴から本体のダクト接続口までダクト配管する。

- ダクトはダクト接続口に力が加わらないよう天井より吊る。(力が加わるとシャッター開閉不良、風漏れの原因となります)
- ダクトに結露が発生する場所においては、ダクトに断熱処理を施してください。(結露により天井材を汚損する原因となります)



3 本体を吊る(野縁を使用する場合は野縁に据付ける場合を参照)

軽量鉄骨を使用する場合は、**3 本体を吊る**の後、**5 軽量鉄骨を組む**の手順に従い据付けてください。

ダクト接続口が同梱されていますので下記作業を始める前に本体に取付けてください。

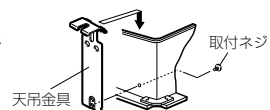
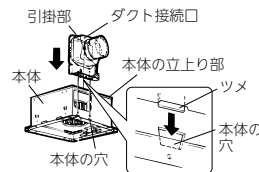
- 本体の穴とダクト接続口の内側のツメおよび、本体の立上り部とダクト接続口の引掛部がはまり込むように本体とダクト接続口を接続する。

お願い

- 複数の穴を同時に据付ける場合は、「3. 外形寸法図」に示すダクト接続口の刻印・シャッター仕様に注意し、ダクト接続口を間違えないように使用してください。

天吊金具P-08TK3(システム部材)を据付ける。

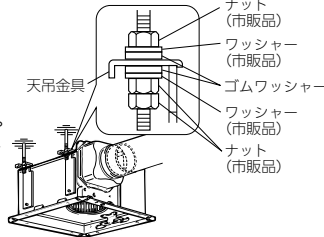
- 天吊金具を本体に引掛けて内側から取付ネジで固定する。



本体が水平になるように天吊金具を吊りボルトに据付け、ナットがゆるまないようにワッシャー・ナットにて確実に固定する。

お願い

- 羽根を持って本体の据付けを行わないでください。(本体に羽根があたり、異常音の発生や羽根破損の原因となります)
- 下側のナットには緩み防止機能付ナットの使用やダブルナットなどにより緩み止めを施してください。

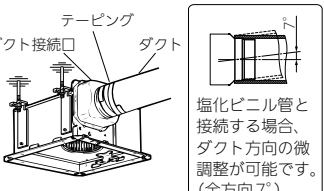


ダクト接続口とダクトを接続する。

- 風漏れのないよう市販のアルミテープなどでダクト接続部をテーピングする。

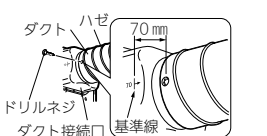
お願い

- ダクト接続口に無理な力が加わらないよう注意してください。(無理な力が加わるとシャッター開閉不良や風漏れの原因となります)



3 ネジでダクトを接続する場合

- (1) 図のように矢印から水平に70mmの位置に市販のドリルネジで固定する。スパイラルダクトではハゼ部が上記70mmの位置にくる場合は、矢印から水平に60mmの位置に固定する。
- ドリルネジの長さはダクトの種類に合わせ、右表を参照してください。シャッター開閉や固定不良の原因となります。



ダクト厚み	φ150の場合
ダクト外径(mm)	150(214/244)
ネジ 掛り長さ	10 13 19

- (2) 風漏れのないよう市販のアルミテープなどでネジの頭をテーピングする。

野縁に据付ける場合

野縁の強度が十分でない場合は天吊金具を併用する

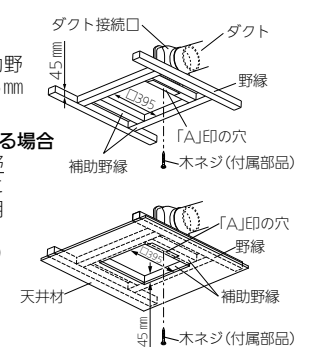
(1) 野縁組立

①野縁に本体フランジを据付ける場合

- 図のように天井の野縁に4本の補助野縁で据付枠を組む。(野縁高さが45mmより大きい場合据付けできません)

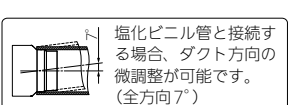
②天井材の下に本体フランジを据付ける場合

- 図のように野縁の内寸が395mm、野縁高さ+天井材厚さが45mm以下になるように、4本の補助野縁を使用して据付枠を組む。(野縁高さ+天井材厚さが45mmより大きい場合据付けできません)



お願い

- 天井がたわまないように、十分強度のある野縁に据付けてください。
- 野縁を組立てる際は、据付穴のピッチと据付穴の詳細図をご確認ください。野縁内寸法が大きいと、木ネジが垂直に打てなくなり、野縁の割れによる固定不具合が発生します。



(2) ダクト接続口の固定

- ダクト接続口をダクトに差し込み、野縁の角の直角に合わせ、すき間がないよう付属の木ネジ1本で仮締めする。(「A」印の穴を使用)

お願い

- 複数の穴を同時に据付ける場合は、「3. 外形寸法図」に示す刻印・シャッター仕様のダクト接続口を間違えないように使用してください。

以下、①野縁に本体フランジを据付ける方法を例として記載しています。②天井材の下に本体フランジを据付ける方法については、野縁組立後に天井材を張り同様の手順で据付けてください。

こんなとき	原因	点検・処置
電源スイッチを「入」にしても羽根が回転しない 強/弱どちらか動かない	分電盤のブレーカーが「切」になっている	ブレーカーを「入」にする
	正しく結線されていない	結線を確認する（スイッチ部/電源線接続部） ※換気扇にAC100Vが供給されていることを確認する ※「共通」への結線が正しく接続されていることを確認する ※ 4 電気工事 の電圧チェック表を確認する
運転中に異常な音や振動がする	本体・グリルが確実に据付けられていない	正しく据付け直す
	羽根・グリルに異物が付着している	異物を取り除く
	本体の固定（天吊金具・ネジ止め）が弱い	本体の固定を確認する
	換気風路の抵抗が大きい（ガラリ・アンダーカット）	ガラリ・アンダーカットを開けて給気する
	換気風路の抵抗が大きい（ダクト配管）	ダクトのつづれ、急な曲がりを修正する
	換気風路の抵抗が大きい（屋外フード）	屋外フードのほころいを清掃する（特にリフォーム時）